

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>最小文化複合施設「HAGISO」</b> HAGISO		
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 商業施設、展示施設、事務所	<b>小分類</b> カフェ、ギャラリー、事務所	
<b>改修設計者</b>	HAGISO一級建築士事務所 / 宮崎晃吉		
<b>所在地</b>	東京都台東区谷中3-10-25		
<b>改修年</b>	2013年		
<b>建築規模</b>	建築面積106.39㎡、延床面積187.52㎡、2階		<b>After</b> 外観 <b>撮影者提供者</b> 撮影: 桐原武志 2021年
<b>掲載書誌</b>	新建築 2016年1月号		<b>概要 after</b> 解体が決まっていた木造アパートで開催されたお別れイベントがきっかけで継承が決まり、最小文化複合施設にリノベーション
<b>賞・選定</b>			
<b>資料・その他</b>	URL		
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>萩荘</b>		<b>概要 before</b> 東京藝術大学の学生たちが暮らす木造2階建ての賃貸アパート
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 住居施設	<b>小分類</b> アパート	
<b>■写真</b> Before 改修前の外観	After 1F ギャラリー		After ギャラリーから見たカフェ
			
<b>撮影者提供者</b>	提供: 宮崎晃吉	<b>撮影者提供者</b>	撮影: 桐原武志 2022年
		<b>撮影者提供者</b>	撮影: 桐原武志 2022年
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 用途変更、痕跡	<b>内容</b> <Website HAGISOのHISTORYより抜粋> HAGISOは、1955年から木造アパートとして、また2004年からは東京藝術大学の学生によって、アトリエ兼シェアハウスとして使われてきましたが、2011年の東日本大震災をきっかけに、老朽化のため解体する方針となっていました。……そこで2012年2月、解体に先立って入居者一同より大家さんへの最後のお願いとして企画したグループ展「ハギエンナーレ2012」を開催しました。 解体を止められないまでも、このような場所があったことの記憶を残すきっかけとなることが目的でした。萩荘に集っていた学生やアーティストたち約20名が、建物全体を使って作品を展示したところ、3週間の展示期間で1500人もの方々が訪れてくれました。 この予想外の盛況を受けたことによりこの建物の価値が見直され、計画は一転、なんと改修され生まれ変わることとなり、2013年3月「最小文化複合施設」としてオープンしました！	
<b>■備考</b>			
<b>■作成者氏名／所属</b>	桐原武志 / Free JIA再生部会		<b>管理者記載</b>